

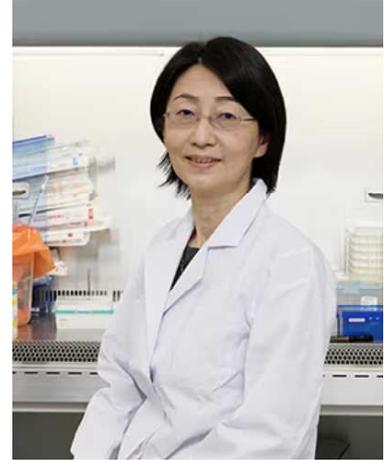


松柏中学校アーカイブ通信 第11号 2024年6月25日発行

きらめきタイム「アーカイブコース」責任者：山村 好克
(タイトルの背景は旧校舎)

【松柏中学校の卒業生紹介】 第6回 (特別編)

武田志津さん (1977年度卒業生・松尾出身)



昨年文化祭、「きらめきタイム発表」アーカイブコースの発表の中で、「松柏中学校の卒業生紹介・特別企画」として紹介した武田志津さんを、今回の通信で紹介します。現在、この「温故知新」は、松柏中生徒の家庭だけでなく、市内の各方面(マスコミ関係を含む)に配付するとともに、バックナンバーを松柏中のホームページに載せており、多くの方々に関心を持っていただいています。昨年文化祭での報告後、「今の松中生にとって、大きな励みになる。」といった感想を、何人もの保護者から聞かされました。それならば、今回の紙面を借りて、より多くの方に松柏中出身の女性科学者を紹介したいと思ったのです。

なお、略歴やエピソードについては、日立製作所のホームページが基本ですが、御本人へのインタビューやメールでのやりとりなどから得た情報が入っています。また、裏面には、武田さんを見付けることになった経緯も紹介しています。



- 市内松尾に生まれます。父親の弟にあたる方は、市議員を務められた武田成幸(なりゆき)さんです。
- 松柏中学校時代は、体操部に所属していました。【写真左。右から二人目です。顧問は安部千鶴子先生です。】
- 中学校時代に影響を受けた先生が、理科の乗松尚先生です。当時は部活動とは別に、クラブ活動の時間が週に1時間ありましたが、乗松先生の科学クラブに入っていました。クラブ活動の枠を越え、夏休み中は毎日、理科室で実験をさせてもらっていたそうです。【写真左が科学クラブで、武田さんは後列左から二人目です。乗松先生は後列右端です。】

○ 八幡浜高校に進学。登山部と写真部に所属します。登山部の同級生に高田宗典前松柏中学校長先生がおられました。しかし、登山部よりも写真部の方に熱心で、植物の写真の撮影に夢中になったそうです。また、自然科学への関心は更に高まり、講談社の教養本・ブルーバックシリーズを読みあさっていました。そして自然科学の中でも特に生物学が好きになり、大学は日本で最高の研究環境が整っている所に行きたいと考えるようになりました。

ここからは箇条書きで紹介していきます。

- 1984年4月 **東京大学理科二類**に進学。ちなみに**八幡浜高校初の女性東大進学者**として、「八幡浜民報」の取材を受けています。(理科二類から「進振り」で薬学部に進学。)
- 1988年3月 **東京大学薬学部卒業**
- 1993年3月 **東京大学大学院薬学系研究科博士課程**修了。**薬学博士**となる。この頃から「将来はノーベル賞を目指したい」と考えるようになる。そのためには日本一ではなく、世界一の研究ができる大学に進学しようと決意する。
- 1993年4月 **ハーバード大学医学大学院**に進み、後期研修医(フェロー)になる。2年間の在籍中、同じくアメリカの**マサチューセッツ工科大学(MIT)**でも研究を進める。
- 1995年4月 **ロックフェラー大学**に進み、博士研究員となる。
- 1997年4月 **東京大学**に戻り、**大学院薬学研究科博士課程**の研究員となる。(2001年3月まで)

(ちなみに4歳年上のお兄さんは東北大学文学部を卒業後、NHKに入社。東京編成局でディレクターを務められ、現在も定年延長で、NHK・Eテレの番組を制作されています。)

裏面に続く

2001年4月 **日立製作所**に入所。研究開発グループで技師となる。
 2009年 中央研究所、研究開発グループなどで、**再生医療の研究開発**に取り組む。
 2017年 日立神戸ラボ設立。研究開発技師長として、医学・生物学を研究。
 現在 **日立神戸ラボ長**として、京都大学 iPS 細胞研究所、大日本住友製薬と共同で、再生医療の研究を進めている。(ということは、山中伸弥先生とも共同ですね。)

姫路市に御自宅があります。結婚して「松岡」姓ですが、研究者としての立場を重視され、仕事では「武田」姓を使用しています。

○ (情報)			伊方
図書館情報大学○ 図、情			八代 広島
東京大学○ 文Ⅱ			八代
○ 文Ⅲ			愛宕
○ 理Ⅰ	武田 志津	56	松柏
東京芸術大学○ 油 絵			八代
電気通信大学○ 電 通 (電子)			三瓶
○ (〃)			伊方

発掘の歩み (これぞアーカイブ)

圧倒される歩みです。
 昨年5月、松柏中閉校に向けて、「アーカイブコース」がスタートした際、生徒の保護者を対象に、「活躍している松柏中卒業生」の情報提供をお願いしました。一方で、私の手元には左のような資料がありました。八幡浜高校進学指導課が毎年発行していた「進学要覧」です。個人情報などが厳しく言われなかった当時、どの高校も、誰がどの大学に進学したのか等はオープンにされていたのです。この冊子の中に、松柏中卒業で東大に進学した人物がいることに注目しました。



理科二類なら、理学部や薬学部に「進振り」したはず。であれば、今は研究者などになっているのではないかという予想を立て、「武田志津」でネット検索をかけました。出てきたのが、日立製作所の研究者だったのです。年齢も合います。左の写真は武田さんの松柏中時代のもので、「科学者・武田志津」と、顔の作りなどを「松柏中科搜研」メンバー(?)が分析し、同一人物で間違いなしとの結論に至りました。(職員室の女性教員の力です!)

次に当たったのが、八幡浜高校の卒業生名簿です。何とか御本人とコンタクトを取りたいと考えたのです。ところが、実家(帰省先)の松尾の住所が現在は空き地になっていました。住宅地図では、この住所の近くに、同じ武田姓で「武田成幸」さん(元市議)の御自宅が記されていました。そこで、思い切って成幸さんに連絡を入れたのです。志津さんは、成幸さんの姪っ子だということが判明しました。そして、松尾から現在は稲ヶ市に引っ越しをされ、志津さんの母親が暮らしていることが分かりました。ここまでで夏休みに入っていました。夏休み中は徹底的に調べるぞと、自称「地域の記録係」の胸が高まりました。

7月末、稲ヶ市の御実家の場所が分かり、母親の弘子さんを訪ねました。弘子さんは「今、ここで娘に連絡をしてみます。」と言って、携帯電話で呼び出されました。そして、電話で「科学者・武田志津」さんにつながったのです。研究で忙しく、今年のお盆には帰省できないということでしたが、以後は武田さんとはメールでやりとりを行い、松柏中学校時代のこと等を教えてもらいました。(それが表面に記した情報です。)

ところが、思いもかけない朗報が届きました。「9月のシルバーウィークには戻ります。」3日間の八幡浜滞在予定ですが、思い切って、インタビューをさせてもらえないかお願いしたところ、「松柏中にうかがいます。」とのこと。急ぎ、日程を提案し、生徒にも声を掛けました。アーカイブコースの3年生2名(田安律さんと菊池まあささん)と、卒業生で八幡浜高校2年の山下愛菜さんが時間を作ってくれました。(彼らは現在、それぞれ八高の1年生と3年生です。)



令和5年9月17日(日)午前10時。武田志津さんが松柏中に来られました。校長室で約90分間、中学生時代から始まって、科学者を志すようになった経緯を語られました。また、現在研究を進めている再生医療について、パーキンソン病をなくすことを目標に、厳しい世界レベルでの研究競争に頑張っていること、母校・松柏中学校はなくなるが、大切な思い出としてずっと心に留めておきたいということを語られました。【写真は校長室で3人の後輩と】

なお、武田さんの学年の八高同窓生ですが、結末が強く、オリンピックイヤーの年の正月には同窓会を開いているとのことでした。今年は1月3日に開かれ、愛媛新聞にも紹介されていました。